

平成22年1月18日

各位

上場会社名 株式会社 ペッパーフードサービス  
 代表者 代表取締役社長 一瀬邦夫  
 (コード番号 3053)  
 問合せ先責任者 総務部長 藤井辰巳  
 (TEL 03-3829-3210)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,620	166	181	△143	△6,392.20
今回発表予想(B)	6,419	128	114	△564	△25,204.45
増減額(B-A)	△201	△38	△67	△421	
増減率(%)	△3.0	△22.9	△37.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年12月期)	7,145	34	5	△476	△21,303.68

## 修正の理由

平成21年8月にペッパーランチ事業で発生致しました食中毒事故により落ち込んだ業績の回復に向けて新商品の開発、販売促進活動の強化等、最大限の努力をしておりますが、経済環境の悪化も加わり、業績の回復が遅れております。売上高は、前回の予想数値より201百万円減少する見込みです。売上高の減少に伴い売上総利益は80百万円減少いたしますが、コストの削減に努めた結果、販売管理費が42百万円減少することから、営業利益の減少額は38百万円となる見込みです。

特別損失項目では、加盟店様への営業補償金額が、当初予定していた金額より277百万円増え、合計で損失は478百万円となる見込みです。補償金額が増加いたしました理由は、9月から10月まで予定していた補償期間を12月まで期間延長したことによることと、10月の補償金額が当初見込金額より109百万円増加したことによるものです。なお、当該営業補償は、平成21年12月分をもって終了することにいたしました。また、売上高の回復の遅れから、営業店舗の減損損失が60百万円発生する見込みです。

以上から、平成21年10月14日に公表した業績予想数値を下回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたします。

なお、食中毒事故に伴う営業補償損失等の損失につきましては、損害保険会社への保険請求を進めるとともに事故の原因となった食材の供給元に対し製造物責任を問う損害賠償請求を準備しております。

また、脆弱となった財務基盤を強化するために、資本の増強策などを検討しております。

(注)上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以上